

三条市の  
「今」と「これから」を  
お伝えします

市民と議会を結ぶ架け橋

5.16

No.12  
2014/H26



粟ヶ岳



道心坂

市議会だより

さんじよう



八木ヶ鼻

雄大な山々 悠久の流れ  
実りの大地 創造の槌音  
先人たちが築いた伝統文化  
一人ひとりが輝くやさしいまち  
(三条市民憲章より)



守門岳

議会を  
傍聴しませんか？

### 主な内容

《平成26年3月定例会(3月3日~25日)》

●議案賛否一覧 P2

《市政を問う》

●大綱質疑 P4

●一般質問 P7

●常任委員会審査レポート P13

●特別委員会の中間報告 P14

議会だよりへのご意見・ご要望は、こちらまで。  
電話:0256-34-5511(内線347) FAX:0256-33-8861  
メール:gikaij@city.sanjo.niigata.jp

パソコンでも情報発信中!

三条市議会

検索



3月 定例会 平成26年第2回

全議案原案のとおり決定

3月定例会は、3月3日から25日までの23日間にわたって開かれました。定例会初日は、市長から平成26年度1年間の基本方針や政策についての姿勢を示す施政方針演説が行われました。市長の提出議案は、魅力ある都市空間をつくり、持続可能なまちとして在り続けられるよう、さらなる事業の選択と集中を行った「平成26年度三条市一般会計予算」502億円、6つの特別会計の平成26年度予算232億円、「平成26年度三条市水道事業会計予算」32億円のほか、「三条市子ども未来委員会条例の制定」などの条例案件、辺地総合整備計画の策定と変更、国の地域経済対策事業を含む「平成25年度三条市一般会計補正予算」51億円など26件が上程されました。採決の結果、すべて原案のとおり可決、同意または承認されました。

このほか請願の採択に伴う「TPP交渉に関する意見書」および「労働者保護ルール改定反対を求める意見書」を国会および関係行政庁に対し、それぞれ送付しました。

議案賛否一覧表

○:議案に対して賛成 ×:議案に対して反対



Table with columns: 議案 (議案番号, 件名, 概要), 議決結果 (自由クラブ, 新政クラブ, 新しい風, 清流, 日本共産党議員団, 公明党議員団). Rows include items like '平成26年度三条市一般会計予算' and '三条市子ども未来委員会条例の制定'.

Main table with columns: 議案 (議案番号, 件名, 概要), 議決結果 (自由クラブ, 新政クラブ, 新しい風, 清流, 日本共産党議員団, 公明党議員団). Rows include items like '消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について' and '三条市職員の給与に関する条例等の一部改正について'.

※1 土田俊人議員は欠席
※2 高坂登志郎議員、鶴巻俊樹議員は賛成、西川哲司議員、島田伸子議員は反対
※3 島田伸子議員は賛成、高坂登志郎議員、西川哲司議員、鶴巻俊樹議員は反対
※4 島田伸子議員、鶴巻俊樹議員は賛成、高坂登志郎議員、西川哲司議員は反対
※5 西川哲司議員、島田伸子議員、鶴巻俊樹議員は賛成、高坂登志郎議員は反対



市政の  
?を  
問いました

# 大綱質疑



\*CFRP 強化剤に炭素繊維を用いた繊維強化プラスチック。高い強度と軽さを持つ材料で、さまざまな用途に使われている。

今定例会では、全6会派が大綱質疑を行いました。

112万6000円になるものと見込まれる。  
**問** 他産地・他業者との三条産米の差別化・付加価値化をどう図るか。  
**答** 価格競争とは違う次元での魅力を創出することで生き残れるシステムを確立することが望ましい。第2次農業活性化プランにある質の高い農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** ネオニコチノイド系農薬の使用規制の動きをどう捉えるか。  
**答** ヨーロッパでは2年間の使用禁止を正式通知している。日本では禁止されていないが、全国各地で使用規制すべきという動きもあり、今年度から実施の環境保全農業の取り組みの中で、JAやNOSA1等関係機関と協議していく。

**問** 事業の選択と集中を図る上で、市民要望とのミスマッチを小さくすることが必要ではないか。  
**答** 多種多様な要望の一つ一つを解決していくことは行政としてあるべき姿であるが、それそのものに偏ってポピュリズムに陥ることはあってはならない。潜在的要因に対しては、市民の要望があるとうと無かろうと、毅然と取り組む。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 合併特例債は発行限度額約27億3000万円を全て活用する。市債額は平成26年度末では総額約993億円で、市民1人当たりの負担額は約97万円となる。

**問** 平成26年度の当初予算によると来年度の起債見込み額は約94億2000万円に、対する償還見込み額は約66億8000万円、27億4000万円の増加となる。別の債務負担行為や一部事務組合債なども含めると、総額はどのように変化するのか。併せて市民1人当たりの負担額は幾らになるのか。  
**答** 一般会計と各特別会計を合わせた市債額は約740億7000万円と見込んでいる。指摘の債務負担行為や一部事務組合債などを含めた年度末総額は約1153億5000万円となり、市民1人当たりの負担額は約97万円となる。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

**問** 農産物の生産では、講演会の開催や展示団場の設置など環境保全型の取り組みを行う。

## 施政方針について

**問** 成長産業分野進出事業の取り組みはどのようなものか。  
**答** 成長産業の環境エネルギー、医療、介護分野への進出を図る。トップランナー企業を支援してきた。当地の企業が強みとする金属加工技術や\*CFRPで加工技術を活用した開発を目的として、地域コンソーシアム型の開発に対する補助事業を予定している。

**問** 農業経営所得安定対策検討委員会設立の目的は何か。  
**答** 三条市の農業を将来にわたり活力ある産業として持続させるため、需要に対応した経営モデルの確立を進め、所得の向上、担い手の充実にもつなげたい。

**問** 市街地の内水対策は、事業期間が今年度までとなっている事業が7つあるが、期間内に終わるのか。  
**答** 1日も早い浸水被害軽減を図るため、年度内完了を目標に全力で取り組む。

**問** 中心市街地の1542軒のうち16%の254軒。候補は幾つかあるが今後所有者と調整を進めて物件の選定を行う。  
**答** 26年度予算で三条市の借金は市債、債務負担行為、一部事務組合債を含めると1153億4679万7000円になる。今後、交付税等で手当てされるものを差し引いた純然たる借金はどれくらいか。  
**答** 566億8000万円、市民1人当たり約55万円になる。

**問** 小中一貫教育「元年」と位置付けながら、「塾」をやる必要があるのか。学校で基礎的な学力をつけてやるのが本来の公教育ではないのか。  
**答** 小中一貫教育の方向性に間違いはない。もっと勉強したい子どもたちに学ぶ機会を与え、世界で競争できる子どもを育てたい。

**問** 厳しい財政と言いつながら、成人式費用の約10倍の1084万円もかけて7・13水害追悼式典を行う必要があるのか。  
**答** 設備のない一中一校校体育館で行うため、仮設の空調、音響、照明等が必要だ。

**問** 今年度国が創設した中小企業・小規模事業者のものづくり・商業・サービス革新事業補助金の取り組み状況はどうか。  
**答** 昨年のものづくり補助金は、三条市では62件の採択があり、事業数の割合で見ると非常に高い採択率である。積極的に挑戦する地域の皆さまの積極的な姿勢の表れである。本年の説明会は、第四銀行、三条商工会議所、三条信用金庫、新潟県中小企業団体中央会がそれぞれ開催し、予定人数をオーバーする状況で関心の高さが窺える。市としても、申請書の書き方勉強会などの支援を実施する。

**問** 消防救急無線のデジタル化に向けた整備で、今後どう変わるのか。また、各種災害事象に対する訓練施設はどのような規模になるのか。  
**答** 電波法の改正により、デジタル方式へ移行が必要になった。特に秘匿性の向上により個人情報や特殊災害事案における情報の保護強化ができる。訓練施設は老朽化が進み、改修が困難のため建て替えを予定している。主訓練塔、副訓練塔ともに鉄骨造りで、高さ20メートルの6階建てと高さ7メートルの2階建てを考えている。

**議第18号** 国のプログラム法が成立し、29年度までに広域化するため赤字解消期間を1年延長して、保険税を対前年比5・3%増とする提案。実は国保会計はかなり改善しているのではないか。値上げ計画を中止すべきだ。  
**答** 累積赤字をそのままにできない。中止はしない。

**議第1号** 予算に対する消費税増税の影響はどうか。  
**答** 一般会計、特別会計、水道事業会計を合わせて、歳入は約2億6000万円増、歳出は約5億3000万円増を見込んでいる。

**議第18号** 国のプログラム法が成立し、29年度までに広域化するため赤字解消期間を1年延長して、保険税を対前年比5・3%増とする提案。実は国保会計はかなり改善しているのではないか。値上げ計画を中止すべきだ。  
**答** 累積赤字をそのままにできない。中止はしない。

**議第1号** 予算に対する消費税増税の影響はどうか。  
**答** 一般会計、特別会計、水道事業会計を合わせて、歳入は約2億6000万円増、歳出は約5億3000万円増を見込んでいる。

**議第18号** 国のプログラム法が成立し、29年度までに広域化するため赤字解消期間を1年延長して、保険税を対前年比5・3%増とする提案。実は国保会計はかなり改善しているのではないか。値上げ計画を中止すべきだ。  
**答** 累積赤字をそのままにできない。中止はしない。

**議第1号** 予算に対する消費税増税の影響はどうか。  
**答** 一般会計、特別会計、水道事業会計を合わせて、歳入は約2億6000万円増、歳出は約5億3000万円増を見込んでいる。

**議第18号** 国のプログラム法が成立し、29年度までに広域化するため赤字解消期間を1年延長して、保険税を対前年比5・3%増とする提案。実は国保会計はかなり改善しているのではないか。値上げ計画を中止すべきだ。  
**答** 累積赤字をそのままにできない。中止はしない。

**議第1号** 予算に対する消費税増税の影響はどうか。  
**答** 一般会計、特別会計、水道事業会計を合わせて、歳入は約2億6000万円増、歳出は約5億3000万円増を見込んでいる。

**議第18号** 国のプログラム法が成立し、29年度までに広域化するため赤字解消期間を1年延長して、保険税を対前年比5・3%増とする提案。実は国保会計はかなり改善しているのではないか。値上げ計画を中止すべきだ。  
**答** 累積赤字をそのままにできない。中止はしない。

**議第1号** 予算に対する消費税増税の影響はどうか。  
**答** 一般会計、特別会計、水道事業会計を合わせて、歳入は約2億6000万円増、歳出は約5億3000万円増を見込んでいる。

**議第18号** 国のプログラム法が成立し、29年度までに広域化するため赤字解消期間を1年延長して、保険税を対前年比5・3%増とする提案。実は国保会計はかなり改善しているのではないか。値上げ計画を中止すべきだ。  
**答** 累積赤字をそのままにできない。中止はしない。

**議第1号** 予算に対する消費税増税の影響はどうか。  
**答** 一般会計、特別会計、水道事業会計を合わせて、歳入は約2億6000万円増、歳出は約5億3000万円増を見込んでいる。

**議第18号** 国のプログラム法が成立し、29年度までに広域化するため赤字解消期間を1年延長して、保険税を対前年比5・3%増とする提案。実は国保会計はかなり改善しているのではないか。値上げ計画を中止すべきだ。  
**答** 累積赤字をそのままにできない。中止はしない。

**議第1号** 予算に対する消費税増税の影響はどうか。  
**答** 一般会計、特別会計、水道事業会計を合わせて、歳入は約2億6000万円増、歳出は約5億3000万円増を見込んでいる。

**議第18号** 国のプログラム法が成立し、29年度までに広域化するため赤字解消期間を1年延長して、保険税を対前年比5・3%増とする提案。実は国保会計はかなり改善しているのではないか。値上げ計画を中止すべきだ。  
**答** 累積赤字をそのままにできない。中止はしない。

**議第1号** 予算に対する消費税増税の影響はどうか。  
**答** 一般会計、特別会計、水道事業会計を合わせて、歳入は約2億6000万円増、歳出は約5億3000万円増を見込んでいる。

**議第18号** 国のプログラム法が成立し、29年度までに広域化するため赤字解消期間を1年延長して、保険税を対前年比5・3%増とする提案。実は国保会計はかなり改善しているのではないか。値上げ計画を中止すべきだ。  
**答** 累積赤字をそのままにできない。中止はしない。

**議第1号** 予算に対する消費税増税の影響はどうか。  
**答** 一般会計、特別会計、水道事業会計を合わせて、歳入は約2億6000万円増、歳出は約5億3000万円増を見込んでいる。

**議第18号** 国のプログラム法が成立し、29年度までに広域化するため赤字解消期間を1年延長して、保険税を対前年比5・3%増とする提案。実は国保会計はかなり改善しているのではないか。値上げ計画を中止すべきだ。  
**答** 累積赤字をそのままにできない。中止はしない。

**議第1号** 予算に対する消費税増税の影響はどうか。  
**答** 一般会計、特別会計、水道事業会計を合わせて、歳入は約2億6000万円増、歳出は約5億3000万円増を見込んでいる。

**議第18号** 国のプログラム法が成立し、29年度までに広域化するため赤字解消期間を1年延長して、保険税を対前年比5・3%増とする提案。実は国保会計はかなり改善しているのではないか。値上げ計画を中止すべきだ。  
**答** 累積赤字をそのままにできない。中止はしない。

**議第1号** 予算に対する消費税増税の影響はどうか。  
**答** 一般会計、特別会計、水道事業会計を合わせて、歳入は約2億6000万円増、歳出は約5億3000万円増を見込んでいる。

**議第18号** 国のプログラム法が成立し、29年度までに広域化するため赤字解消期間を1年延長して、保険税を対前年比5・3%増とする提案。実は国保会計はかなり改善しているのではないか。値上げ計画を中止すべきだ。  
**答** 累積赤字をそのままにできない。中止はしない。



2013年3月 第33回飛燕旗剣道大会中学生女子準決勝、燕中vs下田中



# 討論



**議第1号平成26年度三条市一般会計予算のうち「さんじょう一番星育成事業費」と「第一中学校区小中一体校建設事業費」に反対する。**

「さんじょう一番星育成事業費」は、トップランナー教室、エキスパート教室など選抜試験を勝ち抜いた生徒だけが受けられるエリートを養成するための取り組み。限られたエリート集団を教育することが公教育、義務教育の中で必要なことなのか大変疑問である。小中一貫教育が全市一斉にスタートしたのが25年度であり、まだ地に足がついていない状態。小中一貫教育の充実を図っていくべきであり、職員を混乱させるような教育の格差を招くようなこの事業は行うべきではない。

「第一中学校区小中一体校建設事業費」は、小中合わせて1433人の第一中学校区小中一体校が4月に開校する。大規模校によるリスク、学区が広がったことにより、通学へのリスクなど不安材料が山のようにある。「第一中学校区小中一体校建設事業費」は反対する。

**自由クラブ 議第1号平成26年度三条市一般会計予算をはじめとする各議案について、委員長報告のとおり賛成する。**

平成26年度予算編成は、完了の見通しがついた新保裏館線道路改築事業や浸水被害軽減が急務である内水対策事業などの社会インフラ整備を、そして国の経済対策による財政措置を最大限に活用した子どもの安全・安心を確保するための小中学校の耐震化などに重点配分されている。その上で、「選ばれて次代まで住み継がれるまち」すなわち持続可能なまちとして在り続けるために5つの徹底、3つの基盤の強化を施策展開の基本姿勢として掲げ、数多くの新規事業を含んだ積極予算となっている。

学びのマルチエは、能力や夢があるにもかかわらず、生活が苦しく、とても塾には通えない環境の子どもに対しては参加費を取らないなど、夢を実現したいと希望する子どもたちに対し、平等に後押しができるのは行政が実施するからだとも言える。

国民健康保険は、平成29年度までをめぐりに運営主体が県に移行されることが決まっており、それまでに三条市が赤字の解消を行うことは義務である。

**日本共産党議員団 平成26年度三条市一般会計予算で、期限付任用職員は、市が率先し不安定雇用を進めていくことに反対。7・13水害追悼式典開催事業に総費用1000万円のうち、冷房機器のリース代に500万円をかけることには反対。商工会議所振興事業補助金は商工行政を商工会議所だけに担わせることに反対。さんじょう一番星育成事業について、一握りの子だけをエリート育成することは行政の役目ではないと考える。県同和教育研究協議会負担金は、同和教育は人権教育の中で教えるべきで反対。**

**平成26年度国民健康保険事業特別会計予算は、赤字の全てを国保加入者だけに負担させることはもはや限界。市の繰り入れが必要で値上げは反対。**

**平成26年度三条市後期高齢者医療特別会計予算は、制度の廃止を求める立場から反対。**

「2014年4月からの消費税増税の中止を求める請願」「2015年10月からの消費税増税計画の中止を求める請願」「集団的自衛権行使容認の解釈改憲反対の意見書提出を求める請願」「秘密保護法の廃止を求める意見書提出を求める請願」については採択すべき。

## 会派所属議員

自由クラブ	○久住 久俊 武石 栄二	下村 喜作 梶 勉	佐藤 和雄 吉田進一郎	阿部銀次郎 森山 昭	熊倉 均 土田 俊人
新政クラブ	○高坂登志郎	西川 哲司	島田 伸子	鶴巻 俊樹	
新しい風	○杉井 旬	岡田 竜一	藤田 博史	名古屋 豊	
清流	○西川 重則	横山 一雄	佐藤 宗司	山田 富義	
日本共産党議員団	○小林 誠	武藤 元美			
公明党議員団	○野崎 正志	笹川 信子			

※○：会派の代表者

# 市政の？を問いました

## 一般質問

ダイジェスト

### 【議員と行政のQ&A】

**障がいのある子どもへ通学支援制度を！**

**問 障がいのある子の登下校に、通学ガイドヘルパー等の支援を考えてはどうか。**

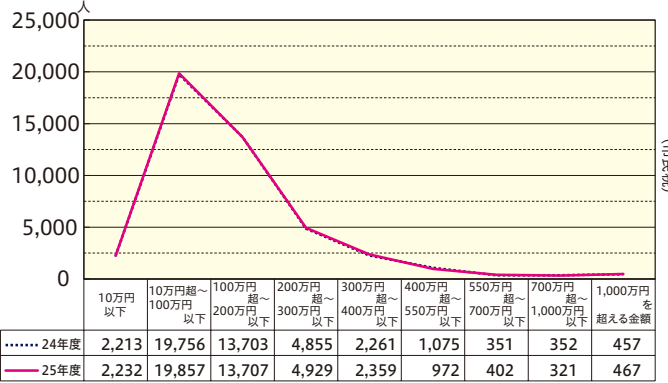
**答 スクールバス乗車の全てに介助員の配置は行っていない。一体校でもやらない。**

**消費税増税、どう市民を守る？**

**問 三条市は所得200万円以下の世帯が8割を占めており、逆進課税の消費税増税は市民の暮らしを追い詰める。市民を守る立場で10%へ上がる前に意見書を上げてはどうか。**

**答 資本主義国家であり生産年齢比率の減少、社会構造を考えたときに当然の帰結。増税は不可避。国に意見を言えなど国に笑われる。市政をつかさどる人間としてそれではない。**

課税標準額の段階別(所得割)課税状況:納税義務者数の推移



市民の8割の所得が200万円以下

**県下最低の子ども医療費助成！**

**問 増税が押し寄せる中、医療費拡充を図ってはどうか。**

**答 現行のままでも、それ以上でもそれ以下でも我々の判断はない。**

**障がい者の雇用応援を！**

**問 多数雇用事業者・施設から優先的に物品の調達等を図る「障害者優先調達推進法」の施行に伴い、市の取り組み、企業等への周知はどうか。**

**答 現在も物品購入等をしているが、各法人の販売物・役務の提供等を調査し努めたい。**

**防災・減災対策について**

**問 国土強靱化基本法が成立した。地域計画策定の取り組みはどうか。**

**答 国の基本計画が示された段階で策定に向けて検討する。**

**問 学校における防災教育の課題と取り組みはどうか。**

**答 防災教育プログラムを作成した。洪水災害を中心に防災教育、授業、研修を実施する。防災キャンプを実施し、避難所、非常食体験、安全マップ作りなどを考えている。**

**オープンデータ推進について**

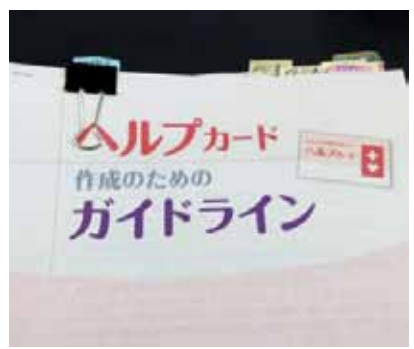
**問 行政の透明性、信頼性、経済活性化が推進できる取り組みはどうか。**

**答 ホームページで積極的に情報公開を進めている。一部、統計情報しか**

**ヘルプカード普及について**

**問 困ったとき活用できるカードで、障がいや難病を抱える人の安心と、家族や支援者の安心、障がいに対する理解の促進を目的に配布してはどうか。**

**答 ヘルプカードの普及によって、障がいに対する理解にもつながる。一方でカードの認知度を深めていかなないと実効性につながらない。導入に向けて地域自立支援協議会に意見を聞いていきたいと考える。**



ヘルプカード

**学校教育の枠を超え、学力向上を！**

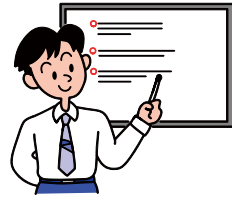
**問 中1・中2段階での学習指導が「難関大学を受験・入学できる生徒の**



**答** 学が喜びを味わったり、将来の夢を具体的にしたりしながら学習意欲を高め、さらなる高みを目指して努力したいという意欲を中学生段階で育成し、それを確かなものにする。ことで将来難関大学の進学等につながっていくと考える。

**問** 手挙げ方式では「基礎学力に乏しい子どもたちの学力向上につながる」のではないかと。

**答** 機械的ではなく子どもが受け入れやすいよう、学校の教員が「ちよつと勉強に行ってみたらどうか」など適切なアドバイスをしていく。



**行政は市民リーダーに頼り過ぎ?**

**問** まちづくり等のリーダー的存在の市民と行政側が、より強固な信頼関係を築くために何が必要か。

**答** 中心となって動いている方々に非常に大きな負担をかけている。市民との協働、市民主体のまちづくりの体制ができつつある中、負担の増加によって、立ち上がったリーダーの向きの芽を摘んでしまわないよう、十分な意見交換をしていくこと

以外に道はない。

**「人口減少とまちづくりについて」**

**問** ここ数年、毎年160人前後の児童生徒数が減少している。そこで子どもたちの社会性の育成、人間力をより向上すべく、教育環境の整備を進めるべきではないか。

**答** 小中一貫教育推進協議会で、中学校区のみさまざまな課題を出しながら工夫改善策を話し合っている。協議会がますます充実するよう支援していく。



児童数が減る一方の保内小学校

**問** 療育環境の現状、特に医療分野について子どもの育ちの支援における医療連携の現状はどうか。また、定期的な通院をしている子どもたちの保護者などからその利便性などについて相談、要望は届いていないか。

めたい。

**福祉施策について**

**問** 障がい者施設に対する基本姿勢はどうか。

**答** 法人の運営費用や人員を公で賄うことはできないが、法人間の連携を強化し、持続可能な体制を構築したい。

**隣接市との関わりについて**

**問** 県央医師会応急診療所について、いまだに応急負担をしない加茂市だが、加茂市民の利用は年間1200人ほどあり、構成4市町村長連名で加茂市に応急の負担をさらに要請していくべきだと思うが、県央基幹病院の課題と併せ市長の今後の対応について伺う。



応急診療所

**答** 新潟県発達障害者支援体制整備検討委員会に子育て支援課が参加している。地域の保護者ニーズを伝え、身近な地域で子どもの発達を診断できる県の療育相談の拡充などを提言していく。

**デマンド交通について**

**問** 26年1月に料金体系が見直された。改定した理由と、その後の利用状況はどうか。

**答** 早い時期から考えていた。数件照会があったがおおむね理解を得たと思っている。利用状況は前年度比で87%、想定された数字だ。

**ものづくりと伝統技術の継承について**

**問** 鍛冶人材育成事業で鍛冶職人の希望者は何人か。また、事業所にどれだけ雇用されているのか。

**答** 23年5人応募の中で3人、25年は5人中1人の計4人の新規人材を雇用している。

**問** 大谷地和紙保存会が復活して6年となるが高齢化も進んでいる。新規鍛冶人材育成事業のような取り組みをしてはどうか。

**答** 加茂市長にはこれまでも負担の要請をしてきたが、これまでに何も回答いただけていない。県央基幹病院の設置やそれに伴う既存病院の役割分担の見直しなど、圏域全体の救急医療体制の整備のため連携を進めていかなければならない中、加茂市長には市民の健康を担う基礎自治体として、基盤整備の応急の負担を担っていただけよう文書をもってご理解いただけるまで粘り強く要請を継続していきたい。県央医師会応急診療所や県央基幹病院の課題については、加茂市と連携も信頼関係も構築できていないが、関係市町村との密接な連携とその連携を続けていくことによる信頼関係の醸成が地域医療体制の充実強化に大切だと考えている。

**農地法・農振法・農委法の改革**

**問** 規制改革会議の議論は、この本質まで変えていくようだが、どのような見解を持っているか。

**答** 守るべき農地を確保しつつ、自治体が自ら転用や除外を決める権限を持つようプロジェクトチームで7月をめどに国へ提言を行う。農業委員会は、現行で十分に役割を果たしているが、農業情勢の変化も

**答** 意欲的な活動により活用方法も広がっている。継続した取り組みを検討したい。

**自然を生かした観光の振興について**



吉ヶ平山荘にて

**問** 吉ヶ平周辺整備で管理棟の雪に対する考え方はどうか。

**答** 地元の方々の意見を設計に反映している。積雪5・2メートルで設計している。

**問** 粟ヶ岳登山道アクセス道路整備は特別債事業だ。新たな特別債事業も発生した。その削減されるのか。

**答** 規模の削減などはなく舗装、公園など事業内容通り進めて行く。

**技術系職員について**

**問** 採用と養成をどう考えるか。

あり今後の議論を注視している。

**二元代表制と市長の行動基準**

**問** 議会との関係をどのように認識して行動基準を考えているか。

**答** お互い切磋琢磨のために議員としっかり向き合っているが、政治家の一人として志を通じるための交流も大切になっている。

**国道403号バイパスの課題**

**問** この現状と課題はどうか。市としての今後の取り組みは。

**答** 県事業は26年度買収、27年度遺跡調査、28年度盛土の計画で進む。認可の終点は塚野目で、この西側は都市計画決定しているが、国道289号バイパスと石上大橋下流



国道403号(井栗街道)の渋滞が続く

**問** 今後増えていくと思うがどのようにしていくのか。

**答** 庁内全体を見渡した連携体制の構築にこれからも心掛けたい。

**IT関連施策について**

**問** 施策を推進してはどうか。

**答** IT弱者を軽視することなく、民間の力を活用して市民総体のITリテラシーの向上を図ってきたい。

**下水道事業について**

**問** これからの展開はどうか。

**答** 県下最低の普及率であるが、国や県の指導を仰ぎながら地域の実情に応じた適正な整備手法を検討し進



橋は長期課題となる。市としては、現行事業の完成を最優先し、今後の事業促進を県などに強く要請していくことになる。

公契約条例の必要性について

問 この条例は、全国に広がっているがどう受け止めているか。日本は、L10第94号条約を批准していないがどう感じているか。

答 自治体自立権の中で制定されていると理解している。

選挙投票所の開閉時間について

問 期日前投票も投票日当日も夜の8時までだが果たして投資効果はあるのか。

答 県の指導もあり、慎重に対応したい。全国の統一した協議結果を見守る。

道路行政と交通規制について

問 国道289号の笹岡地内交差点は、なぜ危険な構造になったのか。除雪体制および衝突事故の責任はどうか。

答 道路法第30条、道路構造令の定めによる。路肩の除雪は県と十分協議し対応する。

市長の政治姿勢について

問 市の大半が里山や森林。施政方針の中に林業振興や里山再生がなぜ無いのか。

答 林道開設に努力し、民有林造林事業を支援していく。



間伐、枝打ちが進んでいない杉林(下田地区)

期限付任用職員に対する労基法の問題について

問 労基法第36条協定、臨時職員・期限付任用職員とは結ばれているのか。時間外勤務の実態はどうか。

答 法の定めにとり協定を結んでいる。時間外勤務の実態はあった。

市政運営について

問 行動規範「三条市役所品質」は、人

事考課等に反映させるとしているが、実施時には個人目標を設定して管理するのか。

答 現在はそこまで考えていない。民間ではそうした手法を使い実効性を高めているが、公務の仕事は数値目標を設定しにくく、導入当初は型にはめないでやろうということとなった。

教育行政について

問 学びの一番星育成事業は、難関大学に将来合格できる学力を身に付ける環境を整えるところがあるが、これは難関大学に入るためだけに勉強を教えることが目的なのか。

答 子どもが才能をさらに伸ばすチャンスを与え、学びの環境を整備して学力向上を図るもので、自分の夢を実現させて世界に羽ばたくような人材の育成を目指すもの。

経済活性化について

問 少子高齢化の時代に定住人口を増やすには、働く場所の確保が重要。県外に行った大学生が三条に戻って就職できる雇用環境をどうやって構築していくのか。

答 働く場の確保は、即効性のある取り組みがない。引き続き3本柱事

業を中心に地域産業の振興を進め、雇用を創出していく。

市役所4階には喫煙室がある。議員を特別扱いするのはおかしい！

問 三条市役所三条庁舎の4階には唯一喫煙室がある。利用しているのは議員。市民には分煙の協力をお願いしているのに議員だけ特別扱いして喫煙室を設置しておくことは市民の理解は得られない。やめるべきである。



答 議員の意思を尊重させていただきたい。

原子力災害について

問 地域防災計画原子力災害対策編で原発事故発生時の南会津への避難計画を策定した。実効性のある整備は具体的にどうするのか。原子力災害を想定した避難訓練をする課題が見えてくるのではないのか。

答 避難開始までの行動は、実施手順等をマニュアル化していく。避難経路は登載した。避難先での生活は受け入れ先と協議し合意に向けて詰めていく。訓練の必要性があれば

新一般廃棄物最終処分場について

問 最終処分場をめぐるトラブルに候補地の選定が上げられる。用地選定に当たって科学的根拠に基づいた説明が必要だ。

答 合併前の合意で下田地区において候補地を検討した。その中で、10万平方メートルのまとまった土地で、地滑りや、湧水量も少ないと見込まれる今回の候補地を選んだ。

市道の維持補修について

問 生活道路の傷みが激しい。車の破損などもある。対応はどうか。合併後、道路維持費の推移はどうか。

答 車等の損害は、修理費の全額から



盛んな健康運動教室

問 柏崎・刈羽原発の再稼働についての市長の見解はどうか。

答 設置地元自治体でない三条市長の立場で表明すること自体お門違い。ただ、万が一のときに備えて市民の安全確保を図っていくことは大切な使命である。

医療費削減効果は

問 健康づくりのために健康運動教室が実施されているが、医療費の削減効果と今後の取り組みはどうか。

答 生活習慣病の予防と介護予防に努めていて、新規参加、継続参加の増加を図っていく。医療費の関係は、運動継続者とそうでない人との比較で1人7万円の差異がみられたことから、一定の効果はあった。

県央基幹病院について

問 県央基幹病院の設置場所については、燕市と連携して誘致してはどうか。

答 県がリーダーシップを発揮し、方向性を提案する段階にある。冷静に県の調整を待つことが一日も早い実現に向けての最良の方策で、これまでの要望、意見を踏まえて早期に設置場所が示されることを期待する。

インフラの整備について

問 政府は、地方自治体に道路や橋などのインフラの老朽化に対応するための計画策定を求めたが、現状はどうか。

答 財政状況が依然として厳しい中、公共施設の老朽化対策は今後の自治体の財政にも大きく影響してくるので、今後の計画策定については、コスト計算書を判断の指標として、より明確な計画を策定する。

三条市総合計画について

問 現総合計画の終期を来年度に控え、計画全体を通しての成果はどうか。

答 人口動態、とりわけ社会動態の人

地域産業の振興について

問 雇用の安定と地域産業の振興をどう図っていくのか。

答 環境やエネルギー、あるいはCFRP等の新素材の用途開発など成長産業分野進出支援、あるいは次世代産業創造プロジェクトに取り組む。また、海外販路開拓に対する支援などにも取り組むことにより、地域産業を活性化させ、働く場の確保に結び付けたい。

農業の振興について

問 総合計画では、法人化または組織された経営体数を計画終期において70経営体とする成果指標が掲げられている。達成状況はどうか。また、生産者組織化について今後の方針はどうか。

答 農業生産法人、集落営農経営体、機械利用組合などの営農組織は合わせて65経営体となっている。今後の方針としては、人・農地プランにより農地の利用集積による農業経営における効率化、合理化を図り、生産者の組織化に向けて支援していきたい。



道路の破損(下田中学校前)



# 【常任委員会審査レポート】

各委員会に付託された議案等について、議会最終日に委員長が審査経過と結果を報告します。



**さんじょう一番星育成事業**

各分野において子どもたちの持っている才能を伸ばし、夢の実現を目指せる体制を整えることで、夢の実現を後押しし、日本、世界に通用するフロンティアを生み出す土壌づくりを行うもの。

- スポーツ**
  - スポーツ一番星育成事業 (予算額 5425千円)
  - 個人支援: ジュニアアスリート育成 (中学生に対する練習の場、大会出場のための準備)
  - 団体支援: ジュニア育成団体支援 (トップアスリートになる可能性のある選手を顕し、強化を継続・拡大する団体に対する選手育成費用等の補助)
- 学力**
  - さんじょう学びのマルシェ (予算額 34718千円)
  - 個人支援: 学びの一番星育成 (各専攻分野の入学を希望する中学生への指導 (国語、算数、英語)、専攻大学への入学)
  - 団体支援: 才能を伸ばすステップアップ講座 (読書、演劇、音楽) (中学生・高校生に対する読書、演劇、音楽等の学習の場)
- 文化・芸術**
  - 文化・芸術一番星育成事業 (予算額 3000千円)
  - 個人支援: ピアノ、ダンス (芸術系大学の入学を希望する中学生への指導、文化芸術研究交流 (一宮市立文化芸術センター、市民会館等の学習の場))
  - 団体支援: 中学生・高校生芸術団体支援 (市民会館、市民センター等の学習の場)

また、さんじょう一番星育成事業について、学びのマルシェは習熟度に応じた学びで効果が出ていくことから、学校教育活動外のプラスアルファの教育と位置付け、トップランナー、エキスパート教室は難易度の高い発展的な学習をする場として、一定の選抜試験を実施し受講者を決定したい。ステップアップ講座はワン教室は日頃の学習の補充的な役割をする場とし、定員は若干の余裕を持たせているとのことでした。

また、スポーツの一番星育成は、県大会レベルの選手個人またはチームを育成している団体に対し、大会や練習に係る経費に助成するもので、上限を30万円と考えているとのことでした。



**若手芸術家支援事業:**  
創作中の中村暢子氏

また、若手芸術家支援事業については、おおむね50歳までの方であること、中央展等での入選実績があることという2つの基準があり、文化芸術振興に関する懇談会において候補の方を何人か挙げて、事業実施期日に開催可能な方を支援しており、26年度も3月に予定しているとのことでした。



**委員会視察した新保裏館線アンダー工区の工事現場**

議第11号平成25年度三条市公共下水道事業特別会計予算について、下田地域の環境は、事業費の残りが相当あるため、後年度の負担もあがることがあり、後年度に限り要望したいとのことでした。

## 一番星育成! 学力、スポーツ、文化・芸術

総務文教常任委員会 森山 昭委員長

議第1号平成26年度三条市一般会計予算は、7.13水害追悼式典開催事業費について、10年という節目であることから嵐南地区での開催とし、第一中学校区小中一体校の体育館を選定させていただいた。来賓や生徒児童を合わせ1500人から参加いただく予定である。また、自衛隊の音楽隊から演奏してもらうことから、できるだけ風音を抑える冷房機器に500万円の費用が掛かる。なお、執行段階においてできるだけ経費削減を図ることとし、服装についても再度検討したいとのことでありました。

## 「ティファニー」ならぬ 「二七の市」で朝食を

市民福祉常任委員会 野崎正志委員長

議第1号平成26年度三条市一般会計予算は、全天候型広場整備事業について、三条学校給食共同調理場の跡地に300平方メートルほどの大きな屋根をつけて厨房も設置する予定であり、駐車場も若干設ける。高齢者をはじめとしたさまざまな方の活用場にしていただけると検討していきたいとのことでした。

また、地域見守りサービス事業については、三条信用組合と提携して積極的に取り組んでいただいているとのことでした。

また、高齢者食育推進事業については、4月から11月ごろまでの月1、2回の予定で、1食500円程度と考えており、基本的には「二七の市」での朝食提供を考えているが、広場に行けば毎日朝食が食べられるというような形を目指していきたいとのことでした。

また、若手芸術家支援事業については、おおむね50歳までの方であること、中央展等での入選実績があることという2つの基準があり、文化芸術振興に関する懇談会において候補の方を何人か挙げて、事業実施期日に開催可能な方を支援しており、26年度も3月に予定しているとのことでした。

## 植木のまち三条 保内に念願の交流拠点施設

経済建設常任委員会 武石栄二委員長

議第1号平成26年度三条市一般会計予算は、中心市街地活性化事業について、まちなか交流拠点施設「みんくる」の事業効果は、中心市街地へもう一度目を向けようという機運が盛り上がりつつあること、最終的にはまちづくり会社を立ち上げることを視野に入れていくとのことでした。

また、ものづくり拠点施設整備事業については、中心市街地から外れた南小学校の跡地をものづくり拠点施設として利用する理由は、市民団体や高齢者施設とコラボレーションでき、相乗効果が期待できる場所だと考えたとのことでした。

議第9号平成25年度三条市一般会計補正予算では、保内地区交流拠点施設整備事業について、地元との協議の結果、緑のある暮らしを体験していただくため庭園を見てもらいたい、植木を植えてみたいと思ってもらえるようなものを目指したいとのことでした。

また、緑地整備費について、条南小学校の跡地利用としては、調整池を地下に設置した公園的な形で計画しているとのことでした。

**問** 三条市は原発事故発生時に福島県に避難する計画を策定した。しかし、現実の問題として、福島県に至るコースは現実味がない。それよりも原発を再稼働させないことが必要ではないか。

**答** 原子力発電に関する課題は、国政レベルで議論がされている問題であり、その動向をしっかりと注視して行く。

**問** 時代に即応したデジタル図書を取り扱いはどうか。

**答** 平成26年度に機器および図書館の電算システムを入れ替える予定であり、検討したい。

**問** 「栄」も図書館の名称や読み聞かせなど、子どもが利用しやすい栄分館のあり方はどうか。

**答** 栄分館については、しかけ絵本日本プロジェクト実行委員会の中で約6割を保険で賠償している。道路維持費は合併前から合併後も1億5000万円から1億8000万円前後で推移している。

**問** 原発再稼働について市長の見解を伺う

**答** 三条市は原発事故発生時に福島県に避難する計画を策定した。しかし、現実の問題として、福島県に至るコースは現実味がない。それよりも原発を再稼働させないことが必要ではないか。

**信濃川・中ノ口川の整備について**  
検討したい。

**問** 須頃郷地区は、平成23年7月29日からの新潟・福島豪雨水害で被害に遭った。内水対策に必要な信濃川・中ノ口川の整備についての考えはどうか。

**答** 県管理である一級河川中ノ口川の国直轄管理への要望書を新潟市長、燕市長、三条市長とともに県知事に提出したところ。

須頃郷地区をはじめとする中ノ口川沿川地域の浸水被害を軽減するためには、中ノ口川の整備が早急に必要である。県も中ノ口川の直轄編入について、今後検討してもらいたいと正式に表明した。

今後とも県と歩調を合わせ国に対して、強く要望していきたい。



中ノ口川の水門

# 臨時会

平成26年第1回

第1回臨時会は、1月16日に開かれ、耐震診断の結果を受け改築工事を行う必要が生じた第二中学校屋内体育館の「改築建築本体内工事請負契約の締結」、保内地区交流拠点施設建設事業用地に供するための「土地の取得」、また過年度の法人市民税における減額更正に伴い必要となる還付金1300万円を盛り込んだ「平成25年度三条市一般会計補正予算」の3件が上程されました。

採決の結果、すべて原案のとおり可決、同意されました。

議案賛否一覧表

○:議案に対して賛成 ×:議案に対して反対

議案	議案番号	件名	概要	会派名 (下段は所属議員数)					議決結果		
				自由クラブ	新政クラブ	新しい風	清流	日本共産党議員団		公明党議員団	
(市長提出)				10	4	4	4	2	2		
その他	議第1号	第二中学校屋内体育館改築建築本体内工事請負契約の締結について	鉄筋コンクリート造2階建 延床面積1,318.85㎡ 契約金額 4億4,496万円 契約者 小柳建設株式会社	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議第2号	土地の取得について	所在地 三条市下保内地区内 所得面積 29,913.12㎡ 取得価格 1億3,595万5,130円	※1	○	○	○	○	○	○	同意
予算	議第3号	平成25年度三条市一般会計補正予算	法人市民税の減額更正に伴う還付金の追加 補正額 1,300万円 補正後の額 469億7,052万2,000円	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※1 久住久俊議員、下村喜作議員、佐藤和雄議員、武石栄二議員、梶 勉議員、吉田進一郎議員、森山 昭議員、土田俊人議員は賛成。阿部銀次郎議員は棄権。熊倉 均議員は除斥\*

\*除斥  
審議事件と一定の利害関係を有する議員はその事件の審議に参加することができない制度。市が買収する土地の理事であることから除斥となるもの。



# 着実に進んでいる災害復旧事業！

吉田進一郎 委員長

平成25年度は、まず昨年7月12日に開催し、五十嵐川をはじめとする改修事業の進捗状況と今後の予定について説明を受け、災害復旧現場等の現地視察を行った。

**五十嵐川災害復旧助成事業**の信濃川合流点から渡瀬橋付近までの下流部は、26年3月末に完了予定。また、渡瀬橋付近から上流の中・上流部は、改修計画および具体的な工事内容、用地補償などについて説明会を開催し、破壊等で被害が大きかった箇所を先行施工区間として優先的に工事を行い、今年度中には工事を全て発注したい。

**遊水地**は、地元に遊水地事業対策委員会を設置し、遊水地内の道路や用排水路などの具体的な内容を協議した。堤内地は用地測量を行い、工作物の補償を行うための物件調査に着手した。今後は用地買収や補償契約を行い、今年度内に一部工事の契約および着工を目標としている。

**笠堀ダム**のかさ上げは地質調査が完了し、実施設計、環境基礎調査などが行われており、地権者との用地交渉も進められている。



月岡の遊水地建設予定地で説明を聞く

**鹿熊川改修事業**の五十嵐川合流点から上流の区間は、下飯田と曲谷地内で工事業者が決定し説明会を開催しており、残りの工事は年度内の発注予定である。なお、曲谷地内の新曲谷橋は、河道掘削や引堤の改修により安全に流下できるとの調査結果から、架け替えは行わないとして地元から理解をいただいた。

中浦川合流点から上流区間の発注済

みの工区は25年度中の完了を目指しており、単年度災害復旧事業は25年中の完了を予定している。

第2回目は、26年2月20日に開催し、五十嵐川等改修事業の審査を行い、中間報告について協議した。

**五十嵐川災害復旧助成事業**の下流部は、護岸工事の1工区の工期を延伸し、26年6月末ごろの完了見込みである。また、中・上流部の工事の発注は、一部26年度にずれ込む見込みである。

**遊水地**は、売買契約の集団調印を実施し、出席できなかった地権者は県と市で個別に対応している。

**笠堀ダム**のかさ上げは、26年4月から29年度末までの予定で、貯水容量は870万立方メートルから1050万立方メートルに増える。また、**鹿熊川改修事業**の未発注の工区は25年度中に1工区、26年度に2工区を発注する予定であり、工事中の一部は工期を延伸の予定である。

質疑では、遊水地に関して、県道から槻の森斎苑へ行く市道の付け替え進入口は今と同じような交差点になるのか、また周囲堤のり面は緑化するのには、進入口は今より若干鋭角になるため、多少曲がりづらくなると思うが、極力進入しやすい形にできないか県にお願いしたい。また、のり面は土のままの築堤となり、芝生の種をまくのかは聞いていない。また、この事



大名橋下流の工事現場

業の完了後は7・29豪雨災害クラスの雨が降った場合、出水をどの程度緩和できるのかには、五十嵐川は1800トンの流下能力を確保する形で整備したが、遊水地や笠堀ダムのかさ上げなどで対処しきれない部分はソフト対策でやらざるを得ない。

そのほか、現在信濃川水系の進捗状況は、国は下流域から流下能力をふやすための措置を行ってきており、中流域となる三条市までできればと希望している。

## 小中一貫教育等調査特別委員会

## 中間報告

# いよいよ開校です。小中一体校

西川重則 委員長

平成25年度は、まず8月5日に開催し、第一中学校区小中一体校等建設状況および開校準備状況について審査を行い、第一中学校区小中一体校の現地視察に合わせて、完成した裏館小学校体育館棟の現地視察を行った。

**建設状況**は、校舎棟の建築本体工事

は工事計画と比較すると遅れている。今後は、人員を増やしながら対応する予定で、12月15日までは確実に完成できる見込みである。グラウンドと外構工事は26年3月までに完成する予定で、開校後既存の四日町小学校校舎の解体に着手し、間野川雨水貯留槽工事、サブグラウンドの整備を行い27年6月の完成を目指している。



正面玄関

質疑では、体育館の仕切りは厚さ30センチ、高さ3メートルくらいの箱型の物を連結し、倒れないよう体育館の中央で固定する設計で、プールの使用期間は屋外プールと比べて使用期間が長くなる。冬期間等は床を上げて運動場として活用していく。間野川があふれた場合の対応は、グラウンド内と四日町小学校跡地に調整池を造ることによって冠水が解消される。校舎は現在の地盤よりも80センチ高くなるため、間野川があふれても浸水するような心配はない。



可動床プール

また、間野川はふた掛けではなく、周りにフェンスを設置する。

**開校準備状況**は、嵐南小学校校名等制定委員会の進捗状況として、校歌はシンガーソングライター川嶋あいさんに委託することにした。校章は、公募で採用作品を教育委員会定例会に提案し、承認後発表する。

また、各部会の活動として学校運営部会では学年行事予定や生活のきまりなどについて、地域交流部会では施設開放や交流施設などについて、通学部会ではスクールバスの乗車試験や通学の安全見守り体制などについて、検討状況の報告があった。このほか試験登校結果の報告があり、今後は冬期に2回予定しており、今回の試験登校の反省を踏まえ、各学校個別の試験登校も予定している。

質疑では、校歌は三条市に来て子供たちと接し、風景なども見てほしいと

通学路の変更は試験登校結果を検証し、不具合があった場合は改善の方法等を探り、ハードの整備は今後関係等に働きかけて、開校後の冬場までに改善していく。

2回目は、25年12月19日に開催し、第一中学校区小中一体校建設状況について審査を行い、完成した第一中学校区小中一体校の現地視察を行った。

質疑では、特別支援教室のトイレサインは、特別支援教室部分は構造的に異なるため同じようにできないことから黒を使っているが、教育上問題があるようであれば今後検討する。また、今後行う試験登校は通常と同じ登校時間帯で行う。また、主要通学路は通学部会でほぼ決定したが、自宅から主要通学路へ出るまでの間も通学路となるため、詳細については今後詰めていく。



# 議会日誌

## 1月

- 7日 議会運営委員会
- 8日 議会報編集委員会
- 9日 議会運営委員会
- 15日 議会報編集委員会
- 16日 第1回臨時会
- 17日 議会報編集委員会  
各派代表者会議
- 21日 東京都中央区議会視察来条
- 22日 公明党議員団行政視察  
(東京都世田谷区)
- 23日 徳島県徳島市議会視察来条
- 28日 埼玉県熊谷市議会視察来条
- 29日 茨城県結城市議会視察来条

## 2月

- 3日 新政クラブ行政視察 ～5日  
(東京都千代田区、東京都江東区、千葉県野田市)
- 4日 自由クラブ行政視察 ～5日  
(東京都足立区、千葉県市川市)
- 6日 新潟県議会視察来条
- 18日 市民福祉常任委員協議会
- 20日 平成26年度当初予算概要説明会  
各派代表者会議  
五十嵐川等改修事業調査特別委員会
- 21日 総務文教常任委員協議会
- 24日 議案概要説明会  
議会運営委員会  
経済建設常任委員協議会
- 28日 議会運営委員会

## 3月

- 3日 本会議  
[施政方針演説、提案説明]
- 5日 本会議  
[大綱質疑～委員会付託]  
小中一貫教育等調査特別委員会
- 6日 本会議 [一般質問]
- 7日 本会議 [一般質問]
- 10日 本会議 [一般質問]
- 11日 本会議 [一般質問]  
議会報編集委員会
- 12日 市民福祉常任委員会
- 13日 市民福祉常任委員会  
市民福祉常任委員協議会
- 14日 経済建設常任委員会
- 17日 経済建設常任委員会
- 18日 総務文教常任委員会
- 19日 総務文教常任委員会
- 24日 各派代表者会議  
議会運営委員会  
総務文教常任委員協議会
- 25日 本会議 [委員長報告～採決]



## 編集後記

水仙、チューリップ、れんぎょう……。色鮮やかな花が一斉に咲きだし、風が香りを運んでくれる、そんな雪国の春がやってきました。

平成23年8月から、この「さんじょう市議会だより」は発行されました。これまで12回発行、無事皆さまにお届けすることができ安堵しています。

この間、写真情報を得るために、突然の訪問にも快く了解をいただき、掲載の写真を撮らせていただいたりもしました。ご協力を得ながら、市政の様子を身近に、分かりやすくお伝えしたいと努力をしてきました。

また、市民の皆さまからご意見や激励のお手紙も寄せられたこともあり、委員一同大変に励まされました。

この編集委員会メンバーでのお届けは最後となります。次号は、新しい議員選出の中で、さらに分かりやすい市議会だよりを目指していただくこととなります。今まで以上に皆さまのご意見をお寄せいただけますよう、お願いいたします。ありがとうございました。

発行／三条市議会  
編集／議会報編集委員会

三条市議会事務局  
電話：0256-34-5511 (代) 内線347  
Fax：0256-33-8861  
<http://www.city.sanjo.niigata.jp/>  
E-mail: gikaj@city.sanjo.niigata.jp